

## ● 県立高等学校の入学選抜について

県立高等学校の入学選抜に際して、中学校において不登校であった志願者については、本人の希望により、長期欠席等の理由などを記載した自己申請書を高等学校長に提出できます。

自己申請書の提出があった場合には、高等学校長はこれを選抜に際して志願者を理解するための補助資料として取り扱うこととなっております。

自己申請書は、Ⅰ期選抜、Ⅱ期選抜、Ⅲ期選抜のいずれの選抜に際しても、また、全日制、定時制、通信制、いずれの高等学校の出願に際しても提出可能です。

県立高等学校の入学選抜に関して、詳しくは、福島県教育庁教育指導領域のホームページ (<http://www.shidou.fks.ed.jp/>) をご覧ください。

また、県立高等学校一覧については、福島県教育委員会のホームページ (<http://www.pref.fks.ed.jp/>) から県立学校をお選びください。

保健福祉事務所(保健所)、精神保健福祉センターは、当研究班が行った現地調査の情報も持っています。なお、研究班が調査した機関は下記のとおりです。

**ご相談の際にお尋ねください**

- ・フリースペース
- ・民間の相談機関
- ・民間のフリースクール
- ・民間の学習サポート機関



## それぞれの歩み…

相談機関や学習サポートなどを利用しながら、歩み始めた方々があります。それぞれの歩みをご紹介します。



### ボランティア活動を始めたAさん

幼い頃から人付き合いが苦手だったAさん。就職してから、会社の人に「愛想がない。」と言われることが多く、周りにうまくなじめない感じがしていました。がんばって働きましたが、やはりなじめない感じが強く、ついに会社を辞めてしまいました。

会社を辞めてからは、ほとんど外出をせず、自宅にひきこもる生活になってしまいました。退職してから半年が過ぎた頃、心の病に関する本を読んだところ、不安や人前での緊張が強い自分が病気ではないかと思いました。自分は病気ではないかという不安がとても強くなり、思い切って、精神科の診療所（クリニック）を受診しました。

精神科の診療所（クリニック）で、不安を和らげる薬を処方してもらいながら、カウンセリングを受けたAさん。徐々に、気持ちが落ち着き、カウンセラーにも将来への不安や自分が考えていることを話せるようになりました。

もともとAさんは、福祉関係に興味があり「人の役にたつことがしたい。」と考えていました。カウンセラーとの話し合いで、「まず、ボランティアから始めてみて、自信がいたら次のステップを考えてみよう。」という目標を設定しました。

月に2回ぐらい老人ホームで、お掃除ボランティアを始めました。初めはとても緊張したそうですが、お年寄りから「ありがとう。また来てね。」と言われることが、とてもうれしく元気つけられるそうです。

